

2022年
年頭挨拶

安全衛生活動の一層の深化に向けて

現場での諸活動に着実に

取り組んでいきました

(株)JFEメカフロント倉敷

代表取締役社長

檀上 賢一



ご安全に。
新年、明けましておめでとうござい
ます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響も秋ごろ
から落ち着きを見せ始め、今年はお家
族が揃われて、新年をお迎えできた方
も多かったのではないのでしょうか。

皆様に置かれましては良き新年をお
迎えてきたこととお喜び申し上げます。
年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げ
ます。

昨年は、鉄鋼業の生産回復と明るい
兆しがあったものの、新型コロナウイルスの感
染拡大の影響で社会生活が混乱する一
年でした。

今年の事業環境は、生産量が回復し
昨年より増加すると考えられています。
鉄鉱石をはじめとする原材料の高騰、
販売価格の改善、中国の生産体制、新
型コロナの世界的な経済活動への影響
など不透明な部分が多いものの量的改
善が進むと考えています。

倉敷地区においては、昨年は鉄の生
産量が低迷していましたが、4高炉改

修・火入れが行われ、今年は高炉が3
体制となり、生産が向上していくこ
とが期待されています。当社も各生産
設備の稼働率上昇とともに仕事量の増
加に対応していくことになると考えて
います。

一方4月には、JFEメカフロント
阪神の吸収合併を控えており、体制の
変更・阪神地区の拠点整備による新規
顧客の開拓・拡販などが期待され当社
全体の売上高・収益が増加するものと
考えています。

昨年、各種不況対策を実施し何とか
黒字を確保できました。今年度は、J
FEプラントエンジニアの構内手当がな
くなるなど経常利益に逆風が吹きまし
たが、最終経常利益は黒字を確保でき
る見込みです。

直協一体となり業務量の確保・収益
改善を達成でき御礼申し上げます。
このような環境の下で、JFEメカ
フロント倉敷グループが生き抜いてい
くためには、
『安全』安全に徹して仕事を行う。

昨年はヒヤリが2件のみで災害防止
への努力に感謝も申し上げます。

一方、交通事故が3件発生しまたま
だ会社・個人々全体の安全意識を高め
ていく必要性があります。安全は一度
達成すれば良いものでもなく、人の入
れ替わり、環境変化などが常に起こっ
ており安全に関する活動を立ち止まら
せることはできません。一人ひとりが
主役となって安全意識を高めていきま
しょう。

作業者の皆さん全員が元気な姿で毎
日退社していただきたいと考えていま
す。

『品質』不良工事の撲滅

請け負った仕事に対しお客様にご迷
惑かけることなく最良の状態を引き渡
すことです。そのために完工確認の徹
底をお願いします。

『防災』火災事故の撲滅

火災を発生させるとお客様にご迷惑
をおかけするとともに操業停止など生
産に甚大な影響を与えるかもしれませ
ん。火気養生を徹底して行い、異常が

あれば作業を止めて再養生・報連相を
実施してください。

これらのことを真摯に取組んで行き、
お客様の信頼を築き上げ・維持してい
くことで当社が成長できると考えてい
ます。

その基盤を整備するためには一人ひ
とりの技術・技能を磨き続けることが
必要です。そのために人への投資を惜
しみなく続けていきたいと考えていま
す。今年度はエンゲージメント調査(社
員の貢献意欲・主体性)などの調査を
行い問題点・不足している点を洗い出
し・従業員教育の充実、それを支援し
て行く会社の施策の立案をしていきま
す。皆さんの成長が当社を支えている
のです。

以上、年頭にあたり、私の所信の一
端を申し述べました。本年が皆様とご
家族にとって実り多く健康で幸せな一
年となりますように心から祈念し、新
年のあいさつと致します。

ご安全に！